つくしんぼ

第278号

発　行　佐渡福祉会、岩の平園保護者会、第二岩の平園保護者会
佐渡市上新穂1256番地　電話 0259-22-3880　URL　http://sadofukushikai.jp

第三十三回 岩の平園祭

～つながる笑顔～

園祭実行委員長　矢田　聡一朗

十月二十三日(日)、岩の平園および第二岩の平園にて、第三十三回岩の平園祭が開催されました。

園祭当日の朝は前日の天気予報に反して雨が降り出す空模様。しかし園祭が始まる前に雨は止み、日が差し込んできました。こうして無事に開催できたことを嬉しく思います。肌寒い天候の中、ご来園下さった皆様に心からお礼を申し上げます。

さて、今年の園祭では『つながる笑顔』というテーマを掲げて臨みました。

このテーマには利用者と地域の方々が笑顔でつながる、そんな思いが込められています。

今年は体育館にて、計三つの団体と個人による催し物が披露されました。まずは瓜生屋子供鬼太鼓の皆さんによる元気いっぱいなステージで幕を開けました。そして次は、海の会によるミュージックケアです。誰もが知っている歌で、会場を盛り上げて下さいました。午後からは利用者の方の芸能発表が行われました。その中でも今年初めて披露されたのがピアノ演奏です。あんずの家の利用者の方とピアノの講師の方によるステージで、会場の皆さんは素敵な音色に聞き入っていました。

体育館での催し物のほか園庭では模擬店や福祉バザーが開かれました。また、佐渡島内における各福祉事業所にも出店していただきました。

この園祭で地域の方々と利用者、保護者、ボランティア、職員が笑顔でつながる時間になったのではないかと思っております。

改めまして、当園祭にご理解・ご協力下さった全ての皆様に心からお礼を申し上げます。

岩の平園祭 福祉バザー寄付

- 日本赤十字奉仕団　赤泊支部　様
- 日本赤十字奉仕団　羽茂支部　様
- 日本赤十字奉仕団　新穂支部　様
- 日本赤十字奉仕団　小木支部　様
- 日本赤十字奉仕団　畑野支部　様
- 佐渡市手をつなぐ育成会　真野地区　様
- 佐渡市手をつなぐ育成会　相川地区　様
- 佐渡市手をつなぐ育成会　赤泊地区　様
- 佐渡ロータリークラブ　様
- 後藤薬店　様
- 総合生協　様
- 内藤電誠工業　様
- 氷室産業　様
- 長坂　チイ　様
- 池　健一　様
- 葛西　啓子　様
- 風間　陽子　様
- 岩田　様

岩の平園祭 ボランティア

- 伝統文化と環境福祉の専門学校　様
- 新潟県立佐渡総合高等学校　様
- 佐和田地区民生児童委員協議会　様
- 佐渡L・T会　様
- 三和福祉会　様
- JA佐渡　青年部　様
- 土屋千鶴子　様

岩の平園祭 催し物協力

- 藤間　綾若　様
- 瓜生屋子供鬼太鼓　様
- カワバタ美容室　様
- 高野　静香　様
- ミュージックケア　海の会　様

障害者差別解消法について

岩の平園園長　鈴木　誠

平成十八年に国連で「障害者権利条約」が採択され、障害者差別を「障害に基づくあらゆる区別、排除または制限」及び「合理的配慮の否定」と定義し、障害者差別を禁止しました。権利条約批准のため国内法が整備され、平成二十三年に「障害者基本法」が改正され、障害者差別の禁止規定を大幅に見直し、合理的配慮の考え方を取り入れました。これにより「障害を理由とする差別的取り扱いをすること」（第四条第一項）、「障害ゆえに生じる障壁の除去に関する配慮を提供しないこと」（同条第二項）の二点が障害者差別にあたりうる行為として示されました。そして、基本法第四条の規定を具体化することを目的に、平成二十五年に障害者差別解消法が制定され、平成二十八年四月に施行されました。

差別解消法の中では、法の対象となる主体と義務の程度が規定されており、その主体を「国・地方公共団体」（以下、行政機関）と「事業者」の二類型と定められています。行政機関と事業者には不当な差別的取り扱いは禁止されています。合理的配慮について、行政機関は提供しなければなりませんが、事業者は努力義務となっています。合理的配慮とは、障害者側からの意思表明があった場合、個々の場面で本人の負担が重くなれば実施されるべき配慮と言えます。したがって、事前の特別な準備やバリアフリー化工事などを伴わない、「その場でできること」が中心となります。

合理的配慮の具体例を挙げると、文字の読み上げ、手話通訳、研修会などにおける休憩時間の調整、車いすに対応した机・作業台の調整、情報のわかりやすい説明などがあげられます。

この法律が広く一般に広まり、人にやさしい共生社会が現実されることが望まれます。

社会福祉法人佐渡福祉会 理事・監事・評議員

この度、任期満了に伴い、次の皆様が第十八期理事・監事・評議員に選任されましたので、ご紹介いたします。

（任期：平成二十八年九月一日～平成三十年八月三十一日）

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	土屋甚健	評議員	熊谷英男	評議員	田上睦夫
副理事長	彈正佼一	〃	宇佐美務	〃	相田兆位
〃	榎浩平	〃	今井清子	〃	本間一生
理事	橋本美子	〃	池紀代美	〃	児玉美代子
〃	石井孝良	〃	板垣千恵子	〃	牟田栄子
〃	岡崎一美	〃	石野逸子	〃	清水貴子
〃	山下薫	〃	佐々木恭子	〃	本間友子
常務理事	佐山三憲	〃	福井秀夫		
監事	北見清	〃	小橋敏膺		
〃	児玉功	〃	椿淳一郎		

★ウエスの材料を集めてます

あんずの家では、ウエスの材料となる古着・古タオル等が大変不足しています。ご連絡頂ければ、回収にもお伺いします。ご協力お願い致します。

連絡先　あんずの家　☎ 23-3303

★薪の販売をします

あんずの家、まつはらの家では薪の販売を行っております。配達も行いますので、お気軽に各事業所へお問い合わせください。

杉……一束 200円
雑木…一束 250円
楢……一束 350円

連絡先　あんずの家　☎ 23-3303
まつはらの家　☎ 52-4744

佐渡障がい福祉フォーラム開催

実行委員長　佐山　三憲

七月十七・十八日の両日、佐渡障がい福祉フォーラム２０１６が開催されました。

私たちが全国レベルの講演会やフォーラムに参加するには、かなりの経費を負担しなければなりません。また、相談支援事業所から、「佐渡で障がい福祉に携わる者として、私たちの仕事が全国水準と比較して、どのような位置にあるのか確認してみたい」と話がありました。このような趣旨で「佐渡フォーラムをやろう」という話になり、島内の障がい福祉に関係するすべての機関から三十名の実行委員を組織して、オール佐渡で取り組みました。

果たして佐渡で参加者が集まるのかと言う心配がありましたが、二百二十名超の参加者があり、遠く札幌から来島した方もおりました。

冒頭、佐渡市の藤木副市長の歓迎の挨拶に始まり、厚生労働省の内山障害福祉課長には就任したばかりでしたが、最新の障害福祉施策について説明いただきました。

フォーラムの内容は、障がい者の権利擁護・精神障がい者の地域移行・障がい児支援・就労支援・意思決定支援などをテーマとして七つのシンポジウムで構成しました。

島外から七名の講師をお招きしましたが、皆さん本業の合間を縫って快く引き受けてくださいました。全国手をつなぐ育成会連合会政策委員の又村あおい氏は、この機会にフェリーに乗りたいと前日に来島したくらいです。

シンポジウムでは、講師に加えて、島内の関係者が登壇して、佐渡の現実や課題、将来展望にも話が及びました。上越からの参加者は「佐渡の課題は私たちの課題です。参加できてよかった。来年も来ます」と言ってくれました。

フォーラムを一回やったからといって何かが目に見えて変わるわけではありません。反省点も多々ありますが、今まで顔も名前も知らなかった若い実行委員の皆さんが準備から本番へ、本当に楽しげに参加する姿を観ていて、とても頼もしく思いました。

講師の方々も「また呼んでね」と言ってお帰りになりました。一回だけで終わりなのではなく、次の世代の人たちに継続していただくことを切に望みます。

盆踊り大会

第二岩の平園　濱本　かおる

八月十七日、岩の平園園庭にて多数の地域の方やボランティアの方々の協力を得て、盆踊り大会が開催されました。午前中の準備の段階で雨が降り多少の心配もありましたが、「今年こそは」の気持ちがお日様を味方にしてくれ、三年ぶりに園庭で開催することが出来ました。

新穂こがね会様の演奏と踊りに、利用者の方とご来場の方々が一人二人と加わり、こがね会様の踊りの後について照れながら踊る方、一緒に歌を口ずさみながら踊る方、こぼれんばかりの笑みで手拍子をされている方、園庭に踊りと笑顔の大きな大きな輪が広がりました。

各模擬店では行列が出来たり、ゲームコーナーでは輪投げの輪が入ると共に歓声が上がったり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。かき氷が溶けてしまう前に一生懸命に食べていたり、ふわふわの綿あめをおいしそうに口にしたり、輪投げの景品を「どれにしようか？」と嬉しそうに選んでいたりと、お祭りを楽しんでいました。

提灯の灯りが程よい感じになった頃、住吉うしお会様による鬼太鼓が披露され盆踊り大会に華を添えていただき、大きな拍手がやむことはありませんでした。

利用者の方の高齢化、重度化に伴い地域の方と触れ合う機会も年々少なくなっている中、たくさんの方々にご来場していただき、利用者の方と共に楽しい時間を過ごしていただけたことをとても嬉しくありがたく思います。地域に根づいたこの行事をこれからも大切にし、来年もまた、岩の平園の園庭にたくさんの笑顔が広がることを願っています。

ご協力いただきました地域の方々、ボランティアの方々、ご来場いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

岩の平園コーナー

～鉄道の旅～

8月20・21日、埼玉県大宮市にある鉄道博物館に行ってきました。昔懐かしい車両を見学したり、シミュレーターで鉄道の運転を体験したり、鉄道の歴史を学んだり・・・。帰りは、今年4月に運行が開始されたばかりの現美新幹線に乗車。美しいデザインの外観と車内の展示に圧倒！ 鉄道を大いに楽しんだ旅行となりました。

～長寿のお祝い～

11月29日、還暦を迎えられた利用者の方のお祝いをしました。おいしい食事、お祝いの品、そして皆からの「おめでとう！」のかけ声。笑顔あふれる、あたたかな会となりました。皆さん、これからますますお元気にお過ごしください。

第二岩の平園コーナー

～たたこう館で太鼓体験！～

7月8日、島内親子旅行があり、小木のたたこう館で太鼓体験を行いました。テレビでもお馴染み、しんちゃん先生も登場し、保護者の皆さんも一緒になってリズムを合わせたり、思い思いに太鼓を叩き、楽しいひと時を過ごしました。

～夏だ！海だ！～

8月5日、長石海岸に海水浴に出かけました。遠浅な海で浮き輪でプカプカ泳いだり、スイカ割り等をして楽しみました。

眩しい太陽とともに笑顔も弾ける、そんな1日になりました。

～素敵な音色にうっとり～

9月23日、第二岩の平園食堂にて秋風ミニコンサートが開かれました。「上を向いて歩こう」や「赤とんぼ」等、お馴染みの名曲をフルートやチェロ、キーボードによる演奏で披露していただきました。うっとり聞き入ってる方や、体を動かしリズムを取っている方等様々でした。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

あんずの家コーナー

～地域の皆様と～

7月23日(土)は、待ちに待ったあんずの家の夏祭り☆当日はうれしいことに朝から晴天！午前は、たくさん集まっていただいたボランティアの皆さんたちと笹に飾り付けをしたり、ゲームやかき氷の準備などなど・・・。開始時間になると、利用者の皆さんと一緒に地域の皆様や子供たちがプラ板やゲームなどを楽しみました。暑いなか大勢の方に来園いただき、地域の皆様と交流できた楽しいひとときでした。本当にありがとうございました。

～年に一度のお楽しみ～

毎年、両津婦人会の皆様よりお招きをいただいているふるさと訪問。

今年は、トキの森公園を見学したあと、椎崎の諏訪神社へ行きました。天候もよく高台から見る金北山と加茂湖の風景は最高の眺めでした。

丁度おなかがすいたころ、しゃくなげへ到着しおいしい昼食をいただきました。その後、保育園児さんの可愛い歌やダンスをみたり、健康推進委員会の皆様による手作りの紙芝居に笑ったり、カラオケと楽しい時間を過ごしました。両津婦人会の皆様、また社協両津支所の皆様本当にありがとうございました。

まつはらの家コーナー

～みんなで佐渡をきれいに～

7月12日、まつはらの家周辺の道路や八幡海岸の清掃を行いました。

海岸には空き缶、ペットボトルや流れ着いた色々なゴミがたくさんあり、中には家電製品（！）もありました。みんなゴミの多さに驚きながらも地域、そして佐渡をきれいにしようという思いでがんばり、たくさんのゴミを回収することができました。日差しの照りつけるなか、汗をぬぐいながらも充実した表情でした。お疲れさまでした。

～大地の恵みに感謝～

まつはらの家では今年も畑でジャガイモ、ダイコン、さつまいもなどたくさんの野菜を収穫しました。この日はジャガイモの収穫を行いました。収穫した野菜は各イベントで販売して地域の皆様から喜ばれています。畑作業は水やりや除草も含め大変な作業ですが、がんばった分だけ収穫の喜びは大きく、「すごい。たくさん採れた！」とみんな笑顔で収穫を行っていました。

「来年は、もっと立派な野菜を作るぞ！」

～楽しかったハイキング～

そよかぜコーナー

9月12日から14日までの3日間、3班に分かれハイキングに出掛けました。金山道遊坑を見学し、サンテラ佐渡スーパーアリーナでお弁当を食べ、佐和田ダムでお茶会を行いました。

金山では間近に見た道遊の割戸に圧倒され、佐和田ダムでは散歩やバドミントンを楽しみ、思い出に残る1日となりました。

～紅葉の名所へ～

秋といえばやはり紅葉。10月26日から28日まで3班に分かれドライブを行いました。行き先は紅葉の名所、紅葉山公園。今年は赤くなるのが遅いのか、色づいている木が少なく感じましたが、それでも美しい赤・黄色の風景を、みんなで楽しむことができました。

第6回 佐渡ふれ愛フライングディスク大会

天候不順で曇り空や雨が多かった今年の秋。そんな中で十月なのに最高気温が29・8度を記録した三日、佐渡市陸上競技場を会場として「第六回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」が行われました。佐渡市障がい者スポーツ協会との共催で、島内唯一の四百mの公認グラウンドで十四施設・団体から八十一名の選手と二十六名の支援者、『伝統文化と環境福祉の専門学校』より十二名の学生、他に新潟県障害者スポーツ指導者やフライングディスク公認指導者等、多くの方々に参加・協力をいただき、楽しく、盛大に行われました。

今回はいつものアキュラシー競技の五mとディスタンス競技の他、団体戦ということでアキュラシー競技の七m（ゴールまで七m）で、各施設から代表の選手二名と支援者一名の計三名が各十回ずつ投げ、その合計点（三十点満点）を競いました。

アキュラシー競技の五mでは十点の方が二名、ディスタンス競技では五十五mが最高でした。また団体戦は十四点の相川岩百合チームが優勝しました。

初めての会場ということで選手はもちろん支援者や指導者も戸惑うことが多かったですが、選手は広々としたグラウンドで思いっきりディスクを投げられたかと思います。そして、できることならこの競技場で全国大会のように多くのサイト（ディスクを投げる場所）を作り、多くの選手や支援者と多くの観客に囲まれた大会が開催できたらと、当協会にとって大きな目標になったように思います。

その目標に向かって、来年五月に「第六回佐渡フライングディスク大会」を、十月に「第七回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」を開催する予定です。誰でもウエルカムです。多くのみなさんの参加をお待ちしています。一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。

また、当協会ではフライングディスク用具の貸し出しも行っております。事務局（岩の平園TEL二二一―三八八〇）まで連絡をください。よろしくお願いします。

（新潟佐渡障害者FD協会事務局　矢本）

6月～11月の寄付・寄贈者

▼岩の平園
・両津地区　本間義昭様
・両津地区　第四銀行両津支店様
・相川地区　坂下忠廣様
・金井地区　佐渡金井キリスト教会様

▼第二岩の平園
・練馬区　青木サト子様
・金井地区　藤橋フジ様

▼あんずの家
・金井地区　山城様
・金井地区　祝　弥一様

▼まつはらの家
・両津地区　佐渡建築工業㈱様
・相川地区　坂下様
・畑野地区　渡部様
・畑野地区　中川様
・佐和田地区　吉田様

6月～11月のボランティア

▼岩の平園
・両津地区　東部会郵便局様
・両津地区　JP労組佐渡支部様

▼第二岩の平園
・金井地区　ベルマン美容室様
・新穂地区　潟上雪椿の会様

▼あんずの家
・金井地区　伝統文化と環境福祉の専門学校様
・新穂地区　佐渡総合高等学校様
・両津地区　佐渡中等教育学校様

▼まつはらの家
・佐和田地区　サクラクラブ様
・佐和田地区　川内マツエ様
・新潟市　敬和学園高等学校様

佐渡国際トライアスロン大会

9月4日、佐渡国際トライアスロン大会に佐渡福祉会チームがリレータイプで出場しました。スイムを佐山事務局長、バイクを金田支援員、ランを本多義治さんが担当。厳しい暑さの中、無事完走しました。

ご声援をいただいた皆様、ありがとうございました。

平成28年度　職員動向

Ⅰ 異動（8月24日付）

氏　名	現職名	前職名
織田友美	まつはらの家　支援課支援員	第二岩の平園 支援課支援員

Ⅱ 異　動（9月1日付）

氏　名	現職名	前職名
杉澤暢美	第二岩の平園　支援課主任	岩の平園 支援課主任

Ⅲ 新　任

氏　名	職　名	採用日
尾方千代子	第二岩の平園　事務員	9月1日付
笹布　勇	第二岩の平園　看護師	10月1日付
藤井典子	岩の平園　調理員	11月1日付

Ⅳ 退 職

氏　名	職　名	退職日
矢田由美子	岩の平園　調理員	10月31日付

短歌

金策に帰りし馬を湯に入れて
下着を洗ふ妻は鹿なり

佼一

チューリップの球根寄贈

10月26日、第四銀行両津支店様より、チューリップの球根を頂きました。春の開花が楽しみです。ありがとうございました。

★パソコンを集めています

あんずの家、まつはらの家では、パソコン等の日本国内での再資源化を目指し、回収・分解・分別を行っています。使い終わったパソコン、サーバー等のパソコン周辺機器、携帯電話、ゲーム機が主な対象です。

情報漏洩対策として、出張解体を行っています。その場でハードディスクを抜き出し、傷付けを行います。出張解体もぜひお任せください。

情報漏洩対策もバッチリで安心！

▲情報漏洩対策
ハードディスク傷付け作業

連絡先
あんずの家　☎23-3303
まつはらの家　☎52-4744